

## 地方における知財活用促進 タスクフォース の皆様



北部研究所(熊谷市)



本所(川口市)

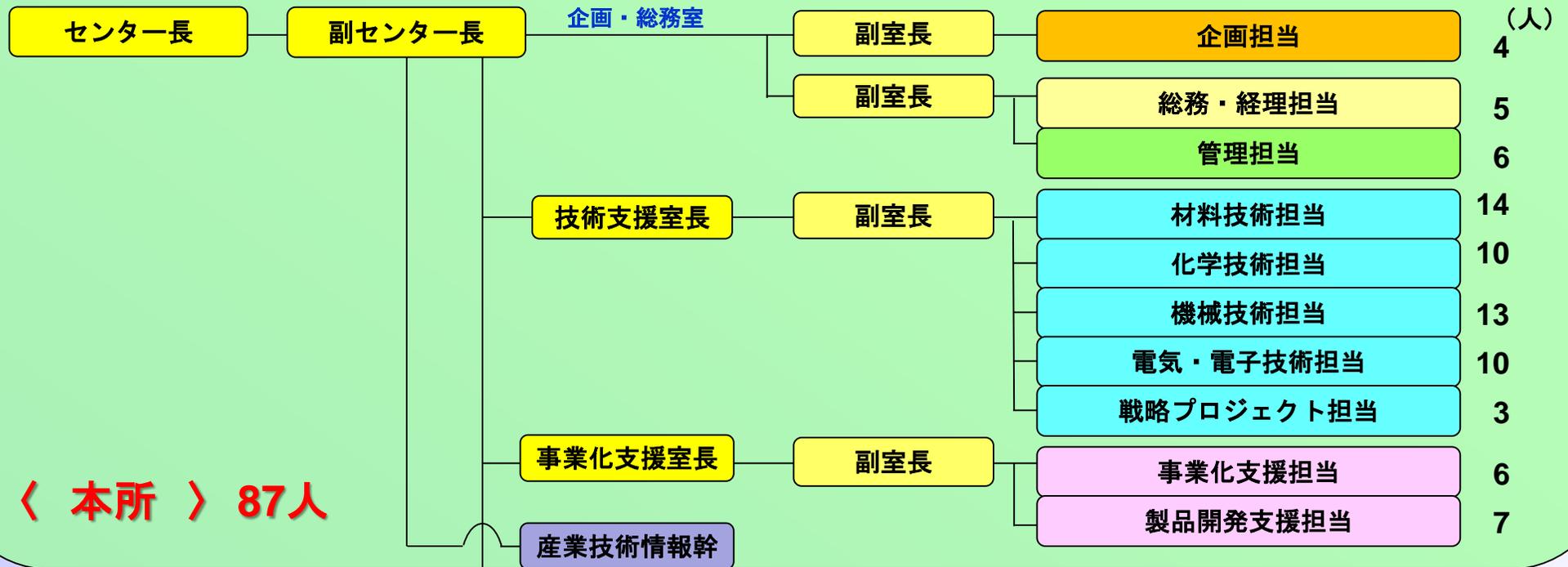


埼玉県マスコット  
コバトン

**宜しくお願いいたします**

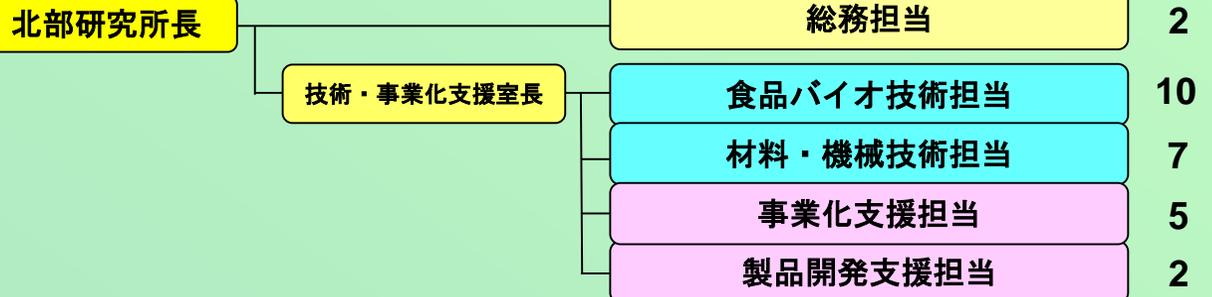
平成27年4月9日(木)  
埼玉県産業技術総合センター  
副センター長 鈴木 康之

# SAITECの組織体制



〈本所〉 87人

〈北部研究所〉 28人



職員 115名 (技術系：97名 事務系：18名) (平成27年4月1日現在)

## (前半) ～事業の前提～

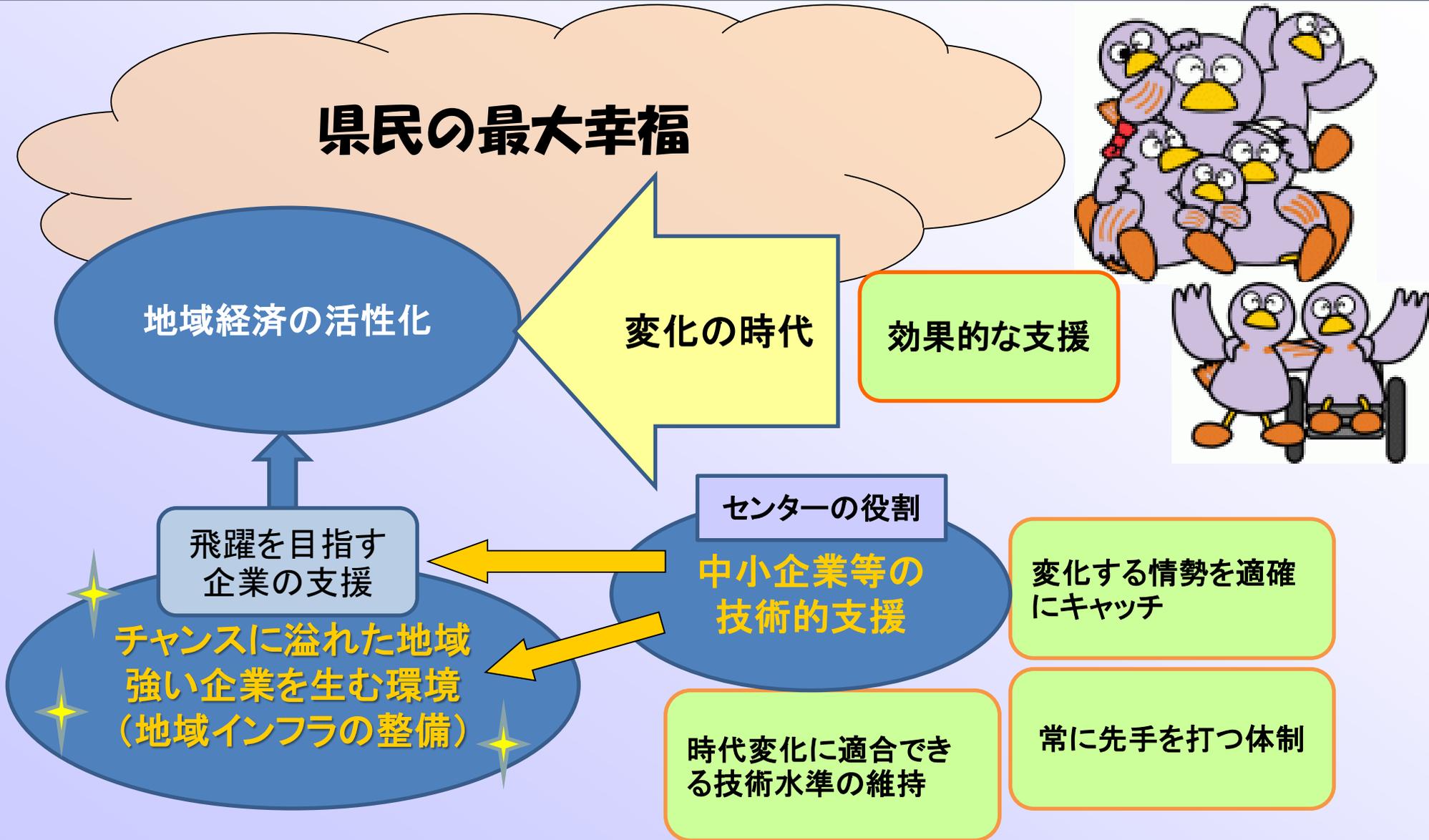
- 1 SAITECの目指す方向
- 2 主な役割 相談機能＋2つの大柱
- 3 SAITECのネットワーク

## (後半) ～事業の概略と事例紹介～

“特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま”

- 1 事業企画の目的（動機）
- 2 事業の概略（イメージ）
- 3 事例紹介（進捗状況）と現在の動き

# 1 埼玉県産業技術総合センターの目指す方向



県民の最大幸福

地域経済の活性化

変化の時代

効果的な支援

飛躍を目指す  
企業の支援

チャンスに溢れた地域  
強い企業を生む環境  
(地域インフラの整備)

センターの役割

中小企業等の  
技術的支援

変化する情勢を適確  
にキャッチ

時代変化に適合でき  
る技術水準の維持

常に先手を打つ体制

## 2 主な役割 相談機能+2つの大柱

技術相談(無料)



機器開放

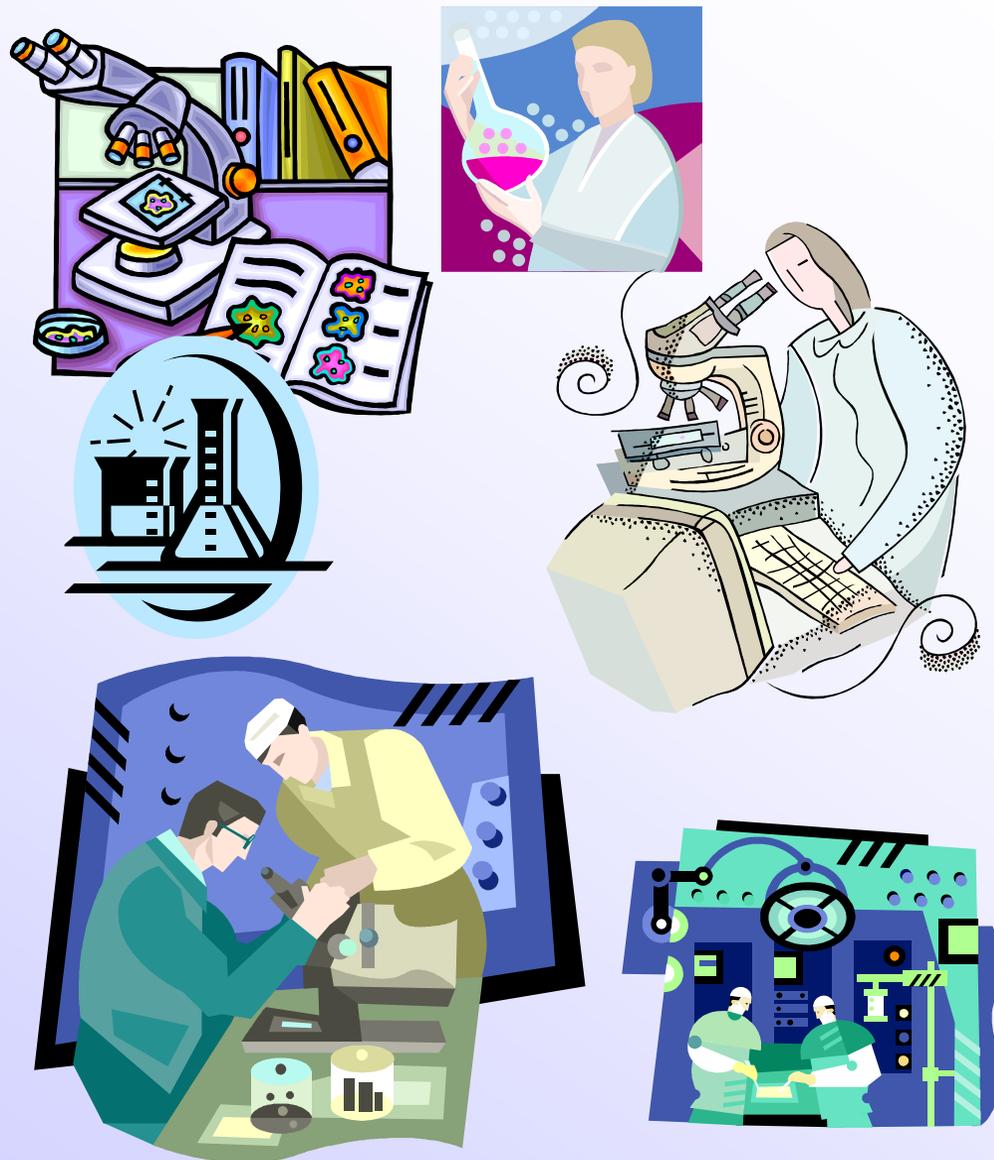
1

検査機器・設備の  
・共用(公共財的)使用  
開放機器 ・ 支援スタッフ

2

企業の  
・検査部門の一部  
・研究開発部門の一部  
を代替・補完  
研究設備 ・ 研究スタッフ

技術支援



# 3(1) SAITEC技術支援ネットワーク(イメージ)

上信越静公設試ネットワーク

長野県工業技術総合センター等

三県連携 (RINGS)

群馬県産業技術センター  
新潟県工業技術総合研究所

埼玉県産業技術総合センター  
(SAITEC)

首都圏公設試験研究機関連携体  
(TKF)

千葉県産業支援技術研究所  
東京都立産業技術研究センター  
神奈川県産業技術センター  
横浜市工業技術支援センター

県内企業の多様なニーズに**ワンストップ**で対応

中小企業基盤  
整備機構

産業技術総合  
研究所

工科系大学等

上信越静公設試  
ネットワーク

埼玉県

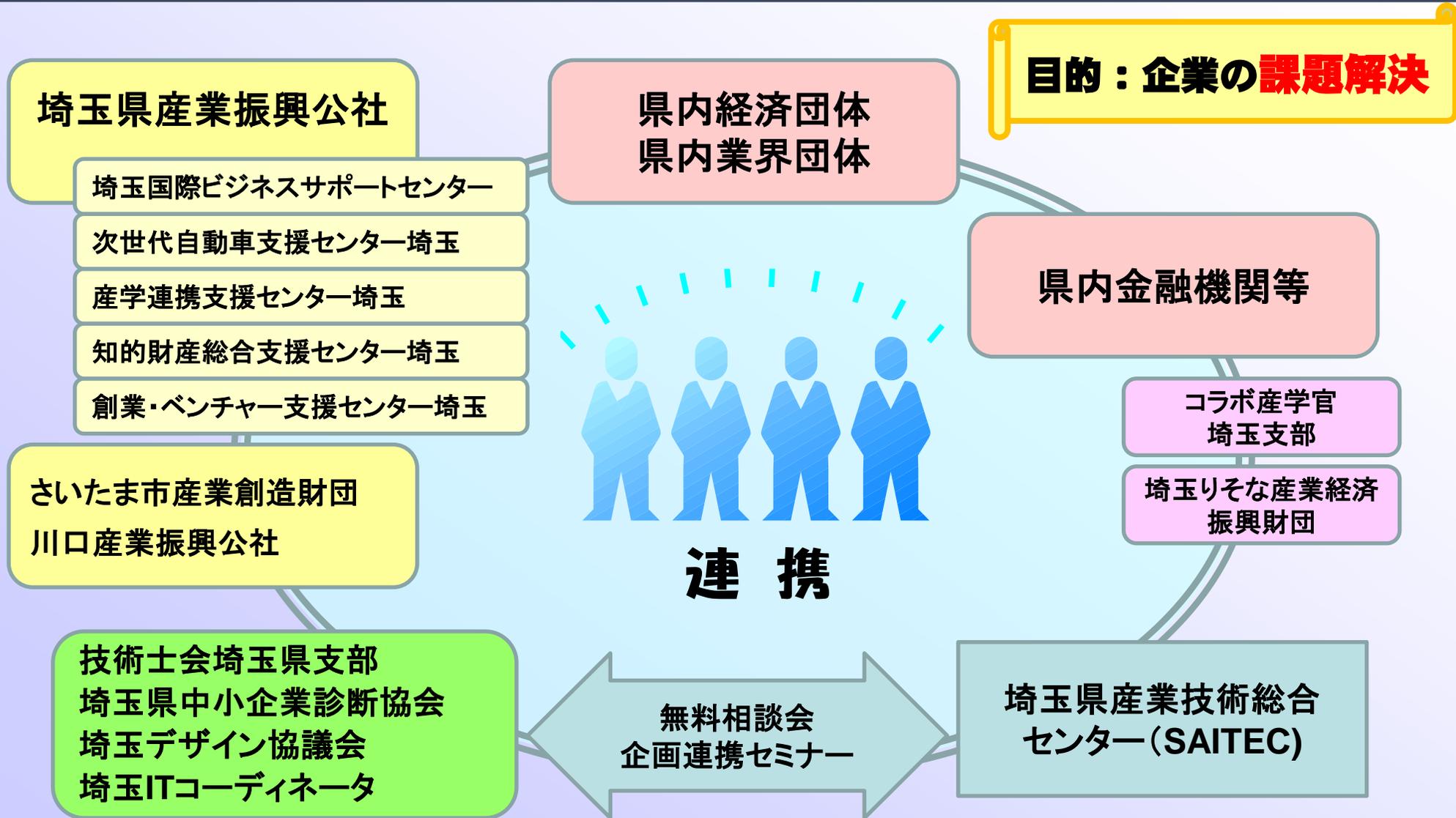
首都圏テクノナレッジフリーウェイ  
(TKF)

理化学研究所

食品総合研究所

日本原子力  
開発研究機構

# 3(2) SAITEC企業支援 県内ネットワーク(イメージ)



(前半) ～事業の前提～

- 1 SAITECの目指す方向
- 2 主な役割 相談機能＋2つの大柱
- 3 SAITECのネットワーク

(後半) ～事業の概略と事例紹介～

“特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま”

- 1 事業企画の目的（動機）
- 2 事業の概略（イメージ）
- 3 事例紹介（進捗状況）と現在の動き

# 1(1) 事業企画の目的(動機)

特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま

所謂、“開放特許”に対する思い込み……。



《気づき》

使えない特許！



大企業が

使わない特許！



特許

非独占的实施権

# 1(2) 事業企画の目的(動機)

特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま

6

目的

地域経済の活性化

目標

強い企業づくり

手段

高い収益を上げるために、  
”価格競争”に陥らない  
強い自社商品の開発促進

問題意識

卓越した製造技術  
を持つが、  
自社商品がない  
中小企業

大企業・大学などの  
開放特許等(知財)

強い自社商品

強い企業

地域経済の活性化

(課題イメージ)

■下請け型体質

発注元企業に ヒト、モノ、カネ、情報を依存。

■部品の製造

一般の”商品”を作った経験がない。

地域の企業支援インフラでカバー  
(産・官・学・金 + 専門家)

事業実施による インフラの強化

# 【参考】 企業支援インフラのイメージ

- メニューは豊富に洩れなく
  - 支援メニューのダブりOK
- ⇒ 選ぶのは“利用者(企業)”  
選択の自由  
利用する・しない

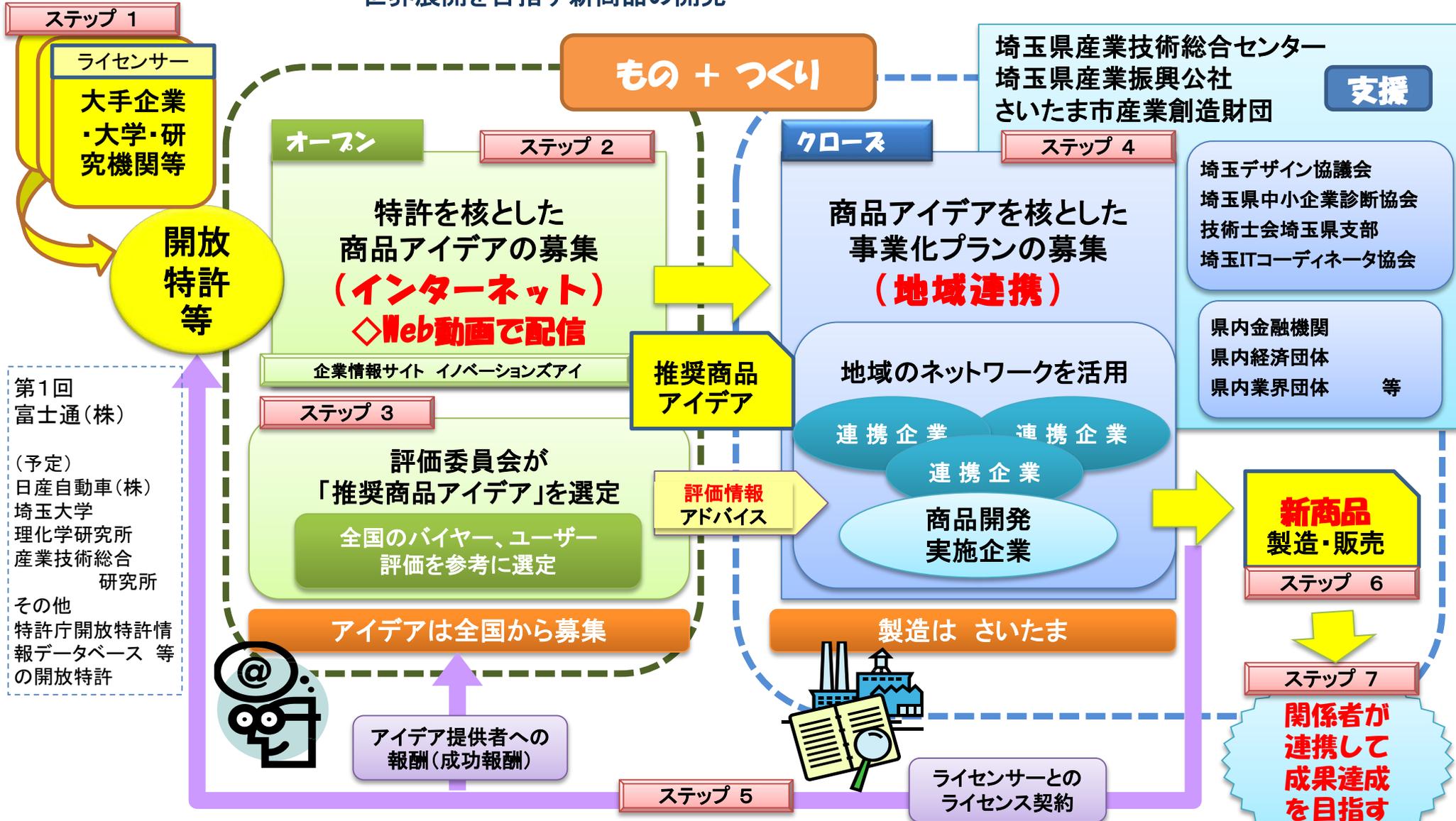


# 2(1) 事業の概略

## 特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま (イメージ)

優れたアイデア + 卓越した技術  
「もの」+「つくり」 → 新商品開発

～世界展開を目指す新商品の開発～



- 第1回 富士通(株)
- (予定) 日産自動車(株)
- 埼玉大学
- 理化学研究所
- 産業技術総合研究所
- その他 特許庁開放特許情報データベース等の開放特許

2014版中小企業白書に事例として掲載

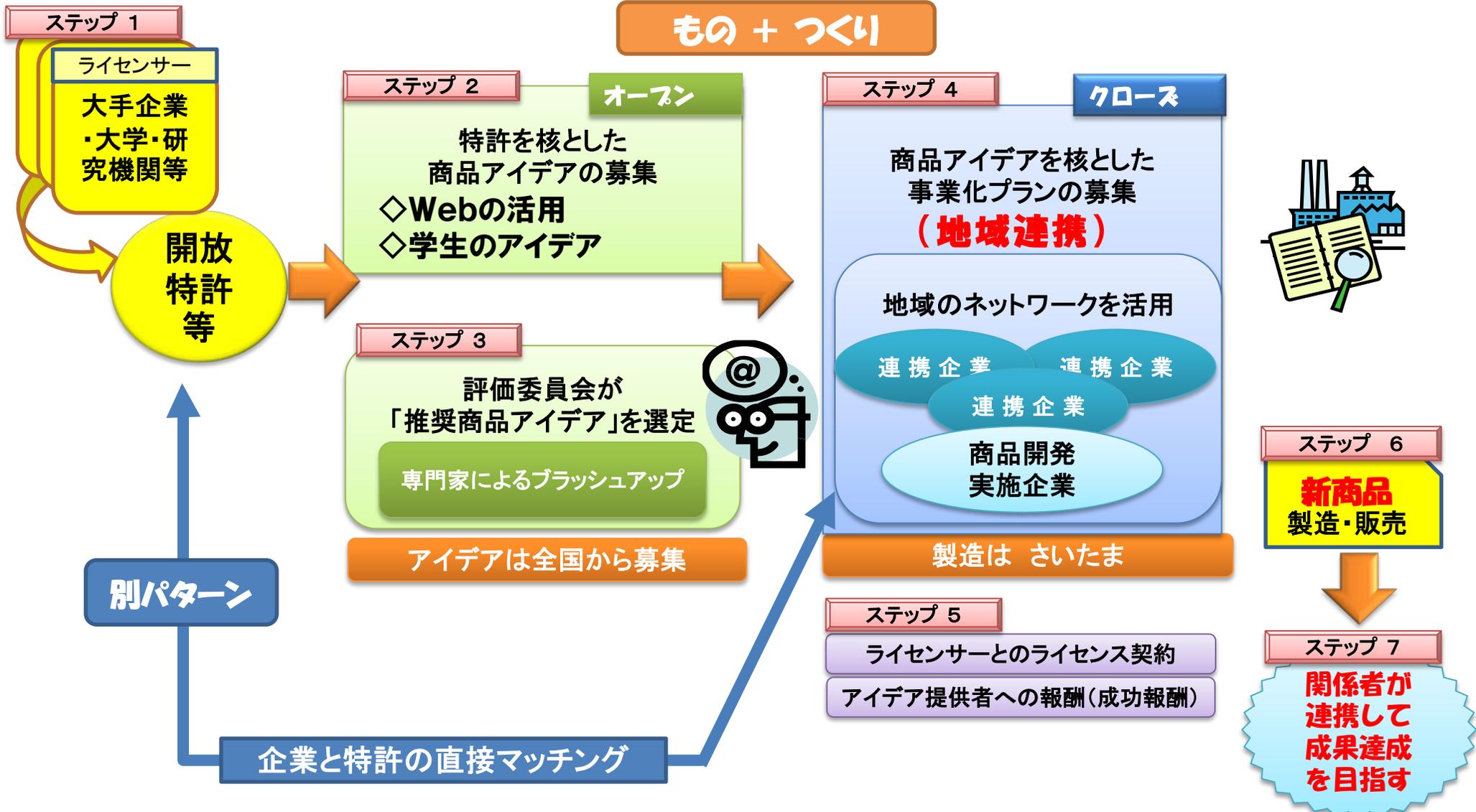
## 2(2) 事業の概略

# 特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま (イメージその2)

優れたアイデア + 卓越した技術  
「もの」+「つくり」 → **新商品開発**

9

～世界展開を目指す新商品の開発～



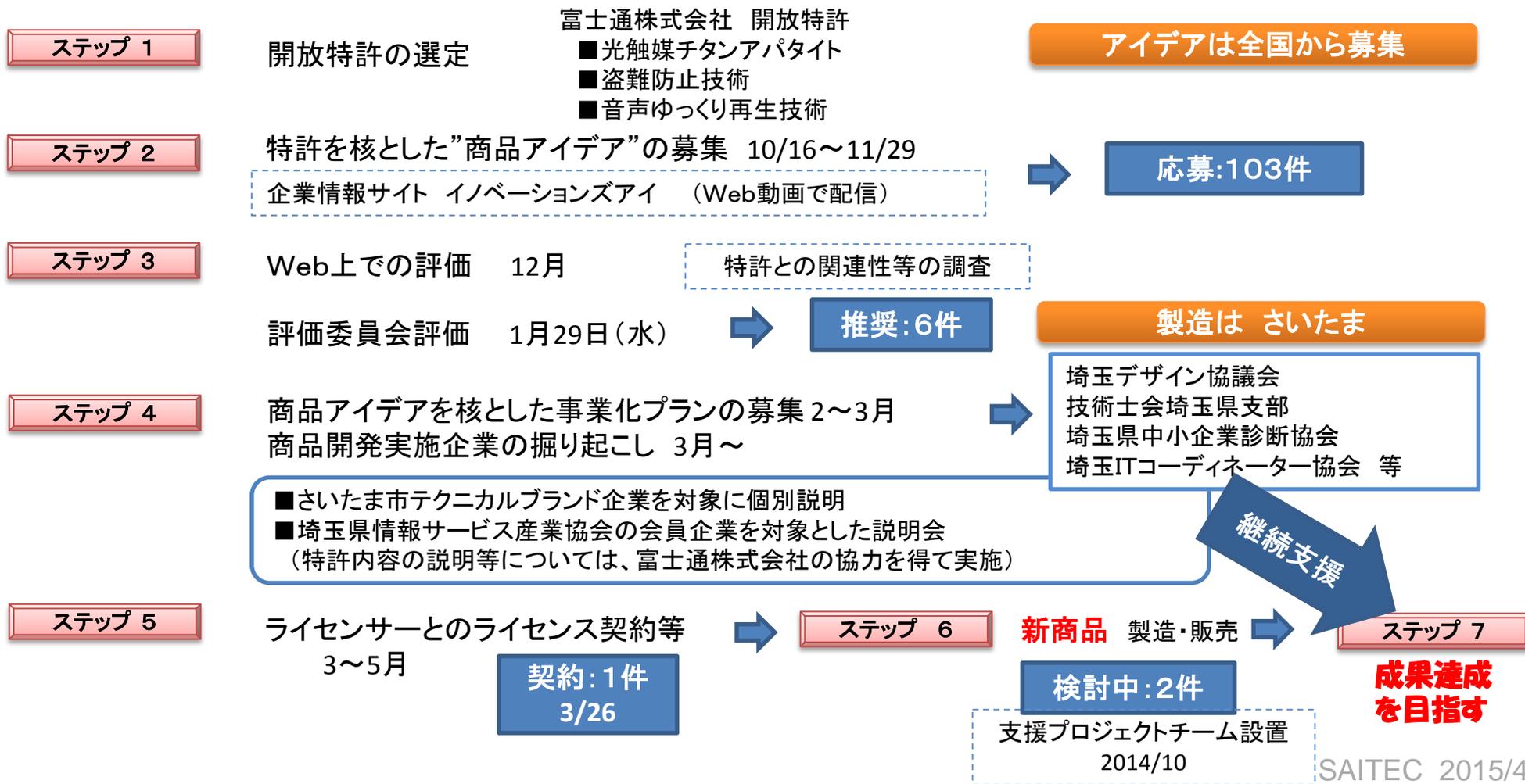
## H25年度第1回募集「特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま」

～世界展開を目指す新商品の開発～

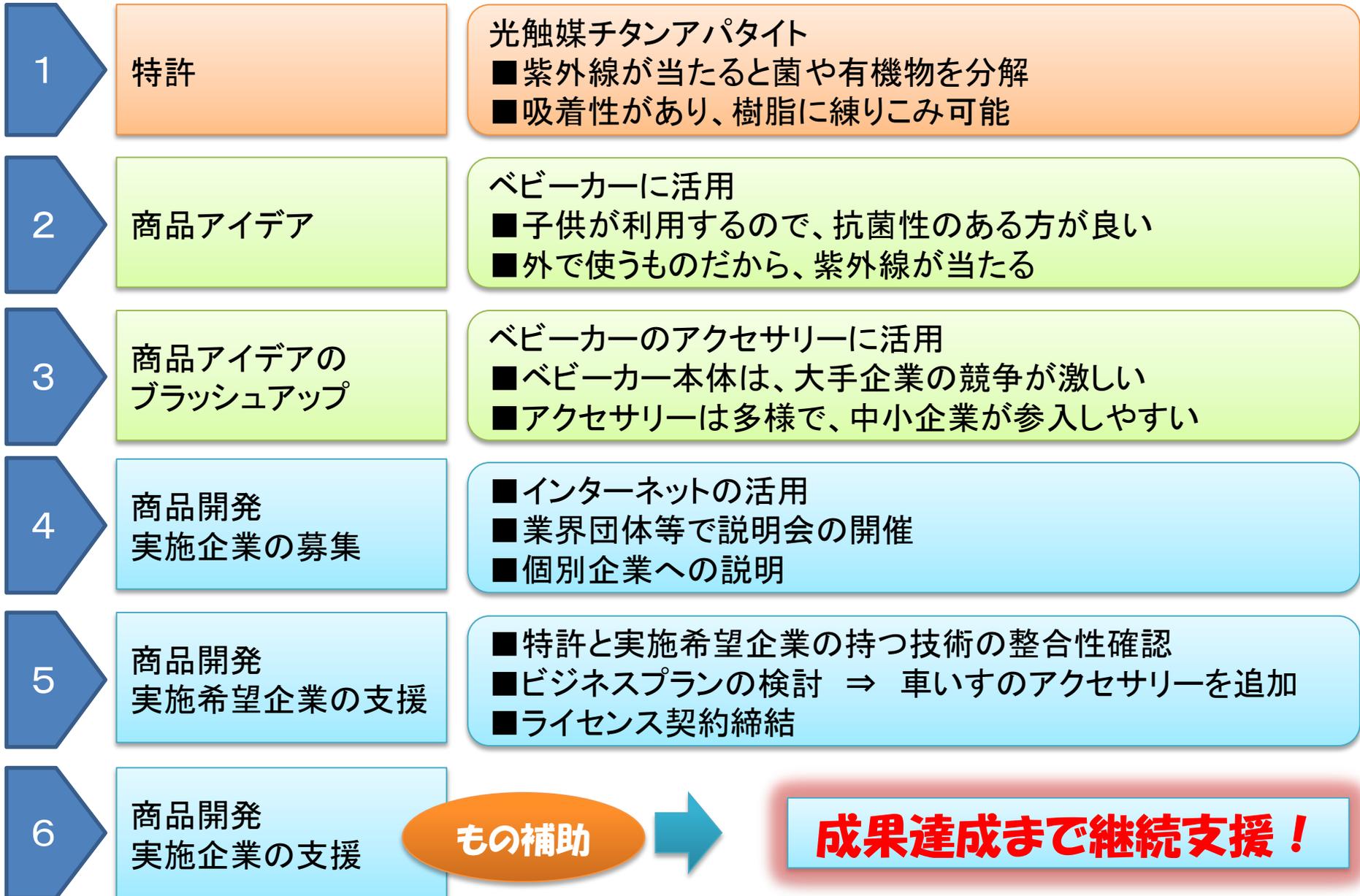
平成25年度は、先行的に、次の体制で第1回募集事業を実施する。

主催: 埼玉県産業技術総合センター、公益財団法人さいたま市産業創造財団

連携: 公益財団法人埼玉県産業振興公社、富士通株式会社、企業情報サイトイノベーションズアイ



## 事例：推奨商品アイデア N03



## 現在の動き

### 特許ライセンスを活用した企業支援事業 in さいたま

#### ■ Webを活用した”商品アイデアの募集”

- ▶ 富士通株式会社のシーズを活用 (H25)
- ▶ 日産自動車株式会社のシーズを活用 (H26)

#### ■ 埼玉大学 経済学部ゼミ学生による”商品アイデア”創出

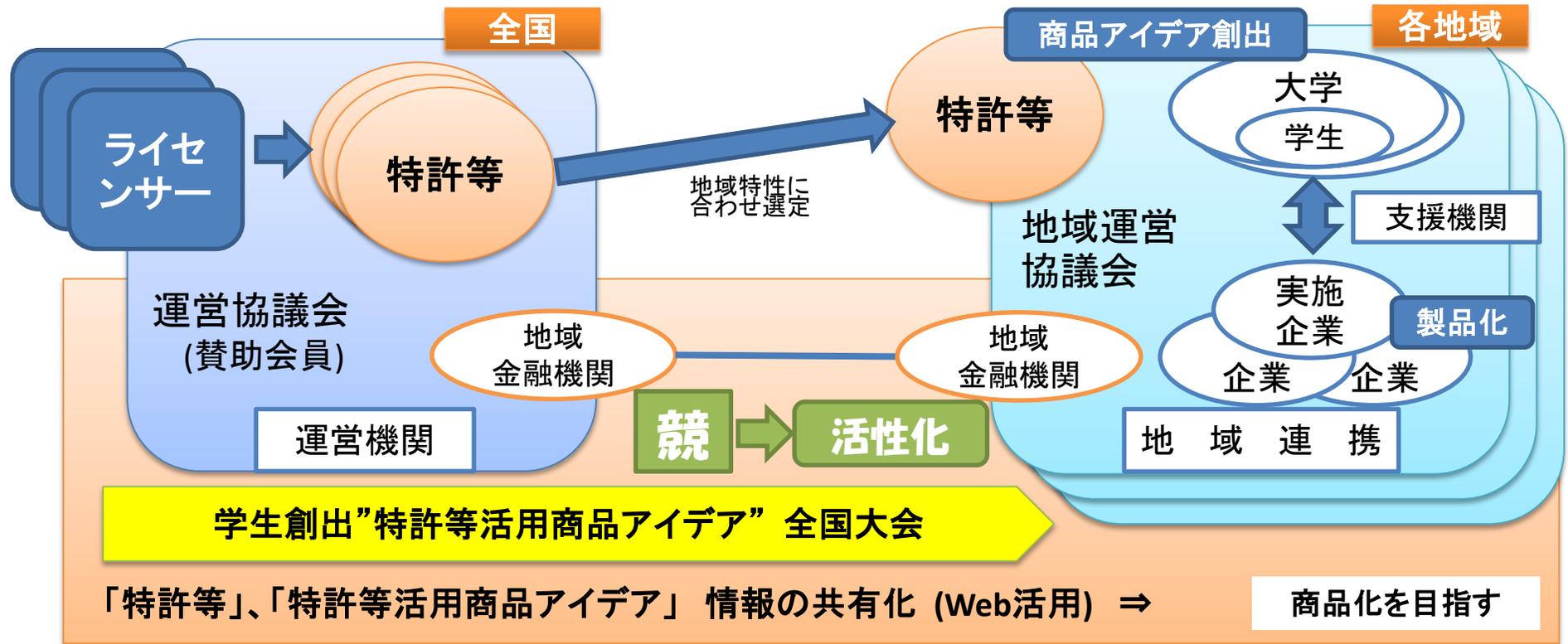
- ▶ 富士通株式会社のシーズを活用 (H25)
- (H26)

#### ■ 経済産業省 ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業 「シーズ発掘事業」

- ▶ 「産学金官連系による大学発シーズ事業化コンソーシアム」 (H26)

**POINT !** “各機関の機能を連携” 目標は、**企業の成長** → **地域の活性化**

～学生による特許等活用商品アイデアの創出 と地域連携による製品化～



(目的)特許等を活用した新商品開発システムの構築(H27～H29) ⇒ ”日本を元気に”

産学官金が連携し、中小企業に大手企業・大学等の開放特許等を活用した商品アイデアを提供、新商品開発を促進する。新商品開発のシステム化により、各地域の連携力を活性化、地域経済基盤の強化を図る。

(成果目標 :H29単年度)

- ①参加大学数: 50大学 参加学生数1,500人(50校×5チーム×6人) 【産業人材育成】
- ②特許等活用商品アイデア: 250件(50校×5チーム×1件) 【連携力活性化】
- ③特許等活用新商品 :25件(250件×10%) 【新商品開発 地域経済活性化】

## ポイント

時代認識を共有し、成功体験を捨てる

新規事業は失敗しやすい 失敗に学び次に活かす

まず目指すのは、すごい商品ではなく、売れる商品

アイデアは、思い込みを捨て思い付きを拾う

ネットワークは臨機応変 コアとオープン

ネットワークの組織は、事業を通じてより強くなる

支援の範囲を自己規制しない ニーズに対応

組織のネットワーク、人的ネットワーク

**目標：地域経済の活性化**

**地域発 日本を元気に！**

